

ご 報 告



この度は、一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)様、主催の第8回エコプロアワードにおきまして「奨励賞」を受賞いたしました FYS 株式会社と申します。身に余る賞を頂き心より感謝申し上げます。

今回アワードでの応募名称は「プラスチックハンガーを従来の廃棄型ではなく、弊社の循環型スキーム(APRES)により、廃棄処分することなく循環型にして環境負荷を軽減する。」という内容で応募させていただきました。

弊社はアパレル副資材(ハンガー、透明袋など)を取り扱っている会社であります。7年前より広域認定取得企業としての使命感から、自社で扱うプラスチックハンガーを現場(店頭)より回収して、再利用する循環システムを構築してまいりました。

このスキームを APRES(アプレス)と名付けて、アパレル大手リテーラー様に対して APRES 循環システム採用に向けての啓蒙活動を行っております。

従来型と APRES の違いは以下の通りです。

【従来型】

店頭に届いた商品(洋服)からプラスチックハンガーを取り外し陳列用ハンガーに掛け替える。掛け替え後、不要になったプラハンガーを各商業施設所定のハンガー処理場に移動。商業施設に一定量たまったプラハンガーを廃プラ回収業者が回収。回収されたプラハンガーは、そのほとんどが焼却処理⇒CO2 排出。

【APRES 型】

店頭でハンガーの掛け替えまでは従来どおりですが、不要になったハンガーは、所定の量を現場にため置き、一定量になると弊社提携の運送業者に回収依頼をし、店頭まで回収に

来てもらいます。回収された箱入りハンガーは弊社のセンターに運送され、届いたハンガーを選別・品種ごとに仕分けし、再出荷しております。⇒廃プラはゼロ

⇒焼却による CO2 の排出もゼロ（環境面貢献）

更に廃プラ処分代を請求する商業施設様も有りますが APRES スキームでは回収に関わるコストは一切発生いたしませんので、それなりの経済効果も有ります。（経済面貢献）

また取組先様には、出荷量・回収量・CO2 排出削減量を数値化し「数字の可視化報告」を行っております。取組先様の中にはこの可視化した年間数字を株主総会・IR 情報等で発表されている企業様もございます。（社会面貢献）

次に、処理後、商品ハンガーとして再利用できないものもございますが、再出荷できないプラ原料を再生チップ化して“食器・事務用品などのノベルティグッズ提案”を「御社から回収したハンガーでリユースできない原料で●●を作ってみました、よろしければ、ノベルティグッズとして」いかがでしょうか？」のような提案も今後は行っていきたいと考えております。（企業イメージ貢献）

いずれにしましても。従来型の廃プラ焼却では無く APRES 循環型を普及させ業界全体で廃プラ削減に貢献して、環境保全の一助になればと願っております。

また今後は商業施設様も巻き込んで、更なる廃プラ削減に努力したいと考えております。

この度の受賞の「選評」のご意見

『商業施設への導入が拡大すれば廃プラスチックの処理費用削減やゼロウェイストを目指す自治体との連携が期待される。特に大手スーパーや百貨店、駅ビルなどにおける廃プラ削減の取り組みは発展途上であり改善の余地が大きい。今後の取り組みによる成果に期待を寄せたい。』の選評通り、

第 8 回エコプロアワード「奨励賞」受賞を機に、本受賞に恥じぬよう更なる活動の輪を広げていく事を、ここにお誓いいたします。

2025 年 9 月 1 日

FYS 株式会社

代表取締役 古池 邦夫